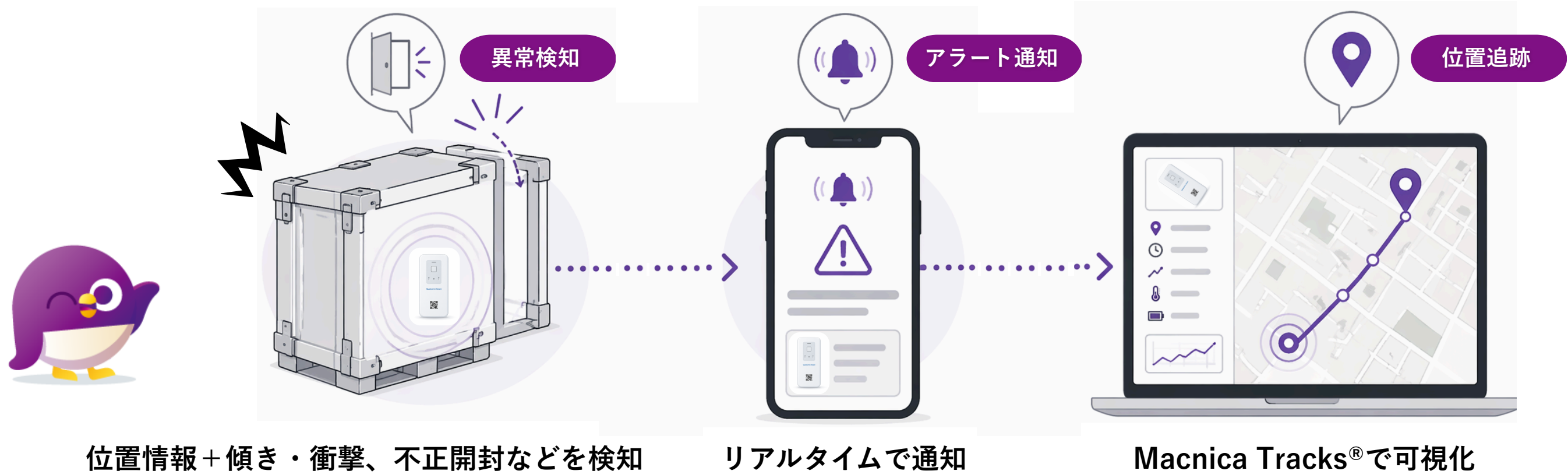




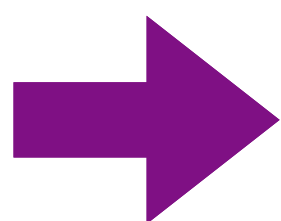
見えない輸送リスクをデータで可視化 IT資産の紛失リスクを強化するMacnica Tracks®



**Macnica Tracks®（マクニカトラックス）は、
モニタリング端末「QTS110」を資産に取り付けるだけで、
異常の検知と常時モニタリングで、IT資産の紛失防止と顧客安心を実現します。**

Macnica Tracks®導入前

- × 「空白時間」に潜む、不正アクセスのリスク
移送中や一時保管時など、管理の目が届かない「空白の瞬間」が存在する。
- × 「人の目」に依存するセキュリティの脆さ
安全性の水準が、作業員個人の「ルール遵守や意識」に委ねられている。
- × 移動する資産の「追跡限界」
万が一の紛失トラブル発生時、その「時間」や「場所」を特定できない



Macnica Tracks®導入後

- ◎ 全行程の「完全自動ロギング」
回収から消去まで、配送ルートと状態履歴を自動で蓄積。
- ◎ 内部不正を防ぐ「即座の記録・警告」
移動や開封そのものが瞬時に記録され、高い抑止力で内部不正を防止。
- ◎ 紛失時も安心な「自己位置発信」
万が一の紛失時も、機材自らが位置情報をもとに迅速な発見・回収を支援。

活用シーン

1

【IT資産・回収輸送】

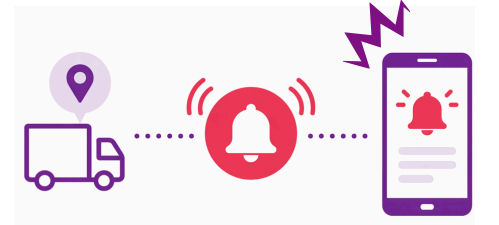
セキュリティ便に頼らない、
回収輸送のトレーサビリティ確保

回収箱の衝撃・開封や滞在状況をリアルタイムに可視化。
モニタリング端末「QTS110」を資産に設置すれば、Macnica Tracks®で「検知→追跡→特定」までの一連の対応が可能になります。



①異常の即時通知

衝撃・開封などの異常を即時に検知し、アラートで通知。
長時間停車はダッシュボード上で確認可能。



②リアルタイム追跡

GNSS、Wi-Fi、LTE通信で配送ルートを図上でリアルタイムに表示。



③「モノ」自体が発信

回収箱自体が位置を発信し続けるため、回収率の向上に貢献。



活用シーン

2

【オンサイト保守・持ち帰りの紛失防止】

交換済み媒体の持ち帰りプロセスを管理

保守作業で交換したHDD/SSDなどの機密媒体。
モニタリング端末「QTS110」を梱包箱に同梱。Macnica Tracks®で管理するだけで、持ち出しから到着までの全工程を記録し、紛失・置き忘れ・盗難リスクを低減します。



①移動データを記録

持ち出しから移動までの全工程を自動でデータ化。



②紛失時も位置特定

紛失・誤送時でも位置を特定し、早期の対応が可能に。



③現場フローを変えず導入

特殊な工事は不要。
箱・バッグに入れるだけで「モノ起点の警備」が始まります。

工事不要！
すぐに
運用開始

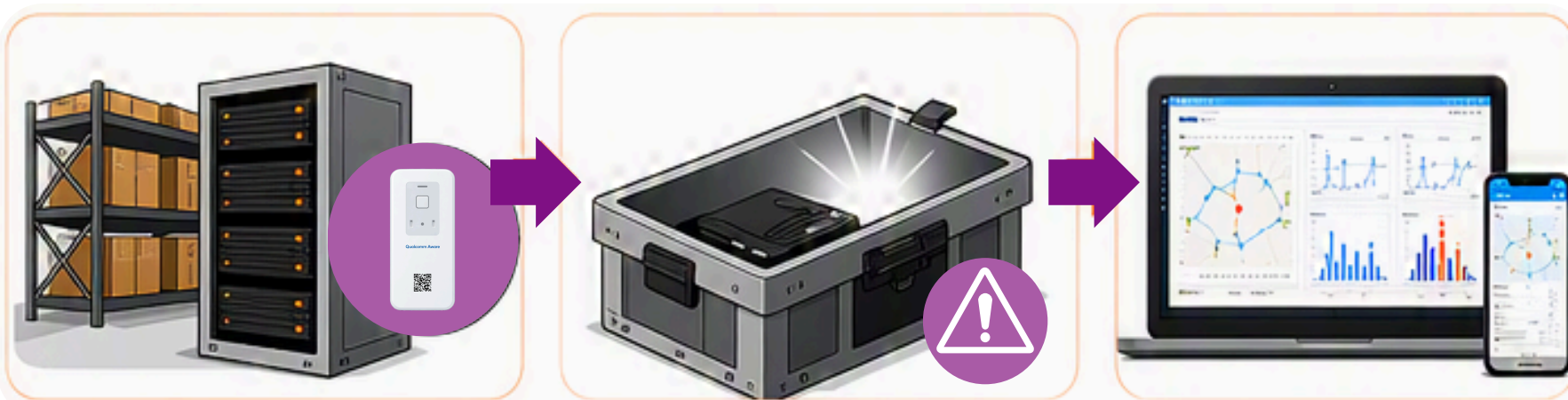
活用シーン

3

【一時開封・倉庫】

不正開封・すり替えを光で検知し、証拠を残す

データ消去や物理破壊を抑えた、重要なストレージ類を安全に保管。
保管ケースが開封された「わずかな光」を照度センサーが瞬時に検知。
不正アクセスのない証拠として記録します。



①照度（光）で開封検知

ケースやサーバーの開封を光で検知。いつ・どこで開いたかを記録。



②内部不正の抑止

「開けたら記録が残る」仕組みは、不正リスクに対する抑止力として機能。



③報告書の自動化

走行履歴や状態ログをそのまま、顧客や監査・コンプライアンス用の報告書に活用。



Macnica
Tracks®で
自動化

Macnica Tracks®は、保守サービス会社以外にも物流業、製造業、医療現場など様々なユースケースが想定されます。 ※画像はすべてイメージです。